

YKプランニング、クラウドツール開発 見える化で財務状況などを分析可能に

会計事務所や一般企業向けにシステムの開発・販売、コンサルティング事業を展開する(株)YKプランニング(防府市佐波1-13-1、岡本辰徳社長)は6月、クラウド型経営支援ツール「bixid(ビサイド)」を本格的にリリースする。

同社開発の付加価値創造ソフト「財務維新」を進化させたクラウド版という位置づけで、企業の経営状態を「見える化」。経営課題などを解決に導くツールとして、全国の会計事務所や中小企業事業者に売り込んでいく。

ビサイドは、「いつでもどこでも企業の経営状態が把握できる」のが特長。クラウド経由で会計データをアップロードすれば、リアルタイムに財務状況や財務分析が行える。例えば、毎月の財務状況

をボックス図で見られる「モニタリング」、グラフや表を使用した「月次レポート」などのほか、顧問会計事務所からの「月次報告書」、アドバースも受けられる。スマホでの確認も可能となった。

今夏、顧問先企業に出向かなくても月次監査が行える機能や、経営計画策定機能が追加される予定。会計事務所と顧問先企業が双方向によってコミュニケーションができるので、新型コロナウイルス対策としても有効だ。

利用料金は、無料のフリープランのほか、月々600円のライトプラン、月々9,800円のビサイドプランがある。いずれも税別。

同社では発売後、全国で1年後の登録企業・会計事務所約1万社、翌年約5万社の利用を目指す。

岡本社長は、「中小企業の経営者の不安材料の軽減につながる」と話す。